



## 平成30年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年3月12日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 平成30年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成30年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	13,117	0.7	439	48.9	524	31.9	369	19.7
29年4月期第3四半期	13,215	22.8	860	152.2	770	265.1	460	699.3

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 398百万円 ( 8.2%) 29年4月期第3四半期 434百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	142.42	
29年4月期第3四半期	177.41	

(注) 平成28年11月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第3四半期	21,022	5,202	24.1	1,954.60
29年4月期	19,635	4,907	24.3	1,842.95

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 5,070百万円 29年4月期 4,780百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		40.00	40.00
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	5.9	720	11.8	850	12.1	620	11.1	239.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期3Q	2,605,000 株	29年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	30年4月期3Q	11,107 株	29年4月期	11,030 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期3Q	2,593,909 株	29年4月期3Q	2,594,172 株

(注)平成28年11月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、近隣諸国の不穏な行為による国際的な緊張が高まり、米国政権の動向に注目が集まる中、各国の対応次第では今後の経済に対する影響も懸念される状況ですが、欧米景気の拡大や政府の経済政策により、国内企業の業績や雇用環境の改善が見られるなど、回復基調で推移しております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、異常気象による海況の異変や一部水産資源の漁獲量の規制、鮭やさんまの不漁など厳しい状況にあります。世界的な魚食の高まりにより、水産物の輸出額は、多少ばらつきはあるものの、年々増加傾向にあるなど、経営環境は概ね安定しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、海外旋網の受注は順調でしたが、定置網の売上高が減少したことや陸上用ネットの施工工事が後倒しになったことにより、前年同期と比べて減少しました。営業利益は、生産の平準化を図り、無駄な費用の削減に努めておりますが、付加価値の高い定置網の売上高が減少したことにより、前年同期と比べて減少しました。営業外損益では、前年同期は為替差損が発生しましたが、当第3四半期ではドル高により、為替差益が発生しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,117百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は439百万円（前年同期比48.9%減）、経常利益は524百万円（前年同期比31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は369百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [漁業関連事業]

売上高は10,974百万円（前年同期比0.1%減）となりました。主な要因は、海外旋網部門の受注が好調であることや連結子会社の増加などがありましたが、定置網部門の売上高が減少したことによるものです。利益面は、付加価値の高い定置網の売上高が減少したことにより、セグメント利益は378百万円（前年同期比49.9%減）となりました。

#### [陸上関連事業]

売上高は2,137百万円（前年同期比2.9%減）となりました。主な要因は、産業用資材の売上高は前年同期と比べて増加しましたが、陸上用ネットの施工工事が一部後倒しになったことによるものです。利益面は、陸上用ネットの売上高が減少したことにより、セグメント利益は61百万円（前年同期比42.1%減）となりました。

#### [その他]

前期に引き続き機械の部品加工等の受注が低調に推移したこと等により、売上高5百万円（前年同期比80.3%減）となりました。利益面は、売上高が低調なことにより、セグメント損失は0百万円（前年同期は1百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加し、21,022百万円となりました。その主な内容は以下のとおりであります。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,057百万円増加し、14,652百万円となりました。これは、現金及び預金は減少しましたが、売上債権及びたな卸資産が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ329百万円増加し、6,369百万円となりました。これは、有形固定資産等が増加したことによるものです。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ778百万円増加し、9,659百万円となりました。これは、仕入債務は減少しましたが、短期借入金が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ313百万円増加し、6,160百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものです。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ295百万円増加し、5,202百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成29年6月12日に公表いたしました平成30年4月期連結業績予想の修正をしております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	942,425	887,760
受取手形及び売掛金	6,593,193	6,743,507
商品及び製品	3,827,847	4,238,660
仕掛品	758,583	718,724
原材料及び貯蔵品	1,073,365	1,183,824
繰延税金資産	109,897	56,609
その他	476,344	1,006,936
貸倒引当金	△186,672	△183,579
流動資産合計	13,594,985	14,652,445
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,345,310	2,362,724
その他(純額)	2,155,884	2,270,051
有形固定資産合計	4,501,195	4,632,776
無形固定資産		
	71,905	89,865
投資その他の資産		
長期営業債権	1,014,643	1,208,196
その他	1,254,362	1,297,074
貸倒引当金	△802,331	△858,415
投資その他の資産合計	1,466,674	1,646,855
固定資産合計	6,039,774	6,369,497
繰延資産	884	232
資産合計	19,635,644	21,022,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,830,583	3,226,120
短期借入金	3,568,456	4,741,429
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
賞与引当金	228,267	99,439
その他	1,154,378	1,492,822
流動負債合計	8,881,687	9,659,811
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	4,816,023	5,304,757
長期末払金	75,425	59,069
役員退職慰労引当金	170,184	177,402
退職給付に係る負債	522,476	483,429
環境対策引当金	19,108	-
繰延税金負債	107,724	107,732
その他	36,003	27,903
固定負債合計	5,846,945	6,160,294
負債合計	14,728,632	15,820,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,292	510,292
利益剰余金	2,998,182	3,264,343
自己株式	△17,189	△17,334
株主資本合計	4,870,111	5,136,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,883	60,219
為替換算調整勘定	△137,435	△126,330
その他の包括利益累計額合計	△89,551	△66,110
非支配株主持分	126,452	132,053
純資産合計	4,907,012	5,202,069
負債純資産合計	19,635,644	21,022,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	13,215,098	13,117,511
売上原価	10,250,852	10,518,026
売上総利益	2,964,245	2,599,484
販売費及び一般管理費	2,103,777	2,159,578
営業利益	860,467	439,906
営業外収益		
受取利息	22,125	19,880
受取配当金	8,455	8,498
持分法による投資利益	23,110	38,363
為替差益	-	41,273
その他	63,461	79,363
営業外収益合計	117,152	187,379
営業外費用		
支払利息	84,729	68,697
手形売却損	14,647	11,666
為替差損	90,810	-
その他	17,408	22,662
営業外費用合計	207,596	103,026
経常利益	770,023	524,259
特別利益		
固定資産売却益	608	155
特別利益合計	608	155
特別損失		
解体撤去費用	31,600	2,016
固定資産除却損	431	420
減損損失	17,010	-
投資有価証券評価損	-	1,000
P C B 処理費用	-	250
その他	635	-
特別損失合計	49,676	3,687
税金等調整前四半期純利益	720,955	520,727
法人税、住民税及び事業税	239,889	74,486
法人税等調整額	35,371	71,229
法人税等合計	275,261	145,715
四半期純利益	445,693	375,011
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,547	5,589
親会社株主に帰属する四半期純利益	460,241	369,422



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	445,693	375,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,323	12,347
為替換算調整勘定	△69,618	14,766
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,386	△3,662
その他の包括利益合計	△11,680	23,452
四半期包括利益	434,013	398,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448,558	392,863
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,545	5,600

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成29年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,985,452	2,200,729	13,186,182	28,916	13,215,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,985,452	2,200,729	13,186,182	28,916	13,215,098
セグメント利益又は損失(△)	755,777	106,411	862,188	△1,720	860,467

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成30年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,974,558	2,137,256	13,111,814	5,696	13,117,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,974,558	2,137,256	13,111,814	5,696	13,117,511
セグメント利益又は損失(△)	378,910	61,622	440,532	△626	439,906

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、有限会社吉田漁業部の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

これにより、当第3四半期連結累計期間は前連結会計年度の末日に比べ、「漁業関連事業」のセグメント資産が、227,435千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「漁業関連事業」のセグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、有限会社吉田漁業部の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において16,291千円であります。